「平成 26 年度ひきこもり相談支援従事者研修会（京都府青少年の社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議）」を開催しました！（南部会場）

「ひきこもり相談支援従事者研修会」を京都テルサ（平成 26 年 12 月 9 日）で開催しました。

京都府内でひきこもり支援に関わる教育・福祉関係者、民間支援団体職員、行政職員など約 90 名が出席しました。

グループワークでは、「ひきこもりの早期支援として必要な取組」を参加者ひとりひとりがアイデアを出して共有し、参加者自身にできることを考えました。

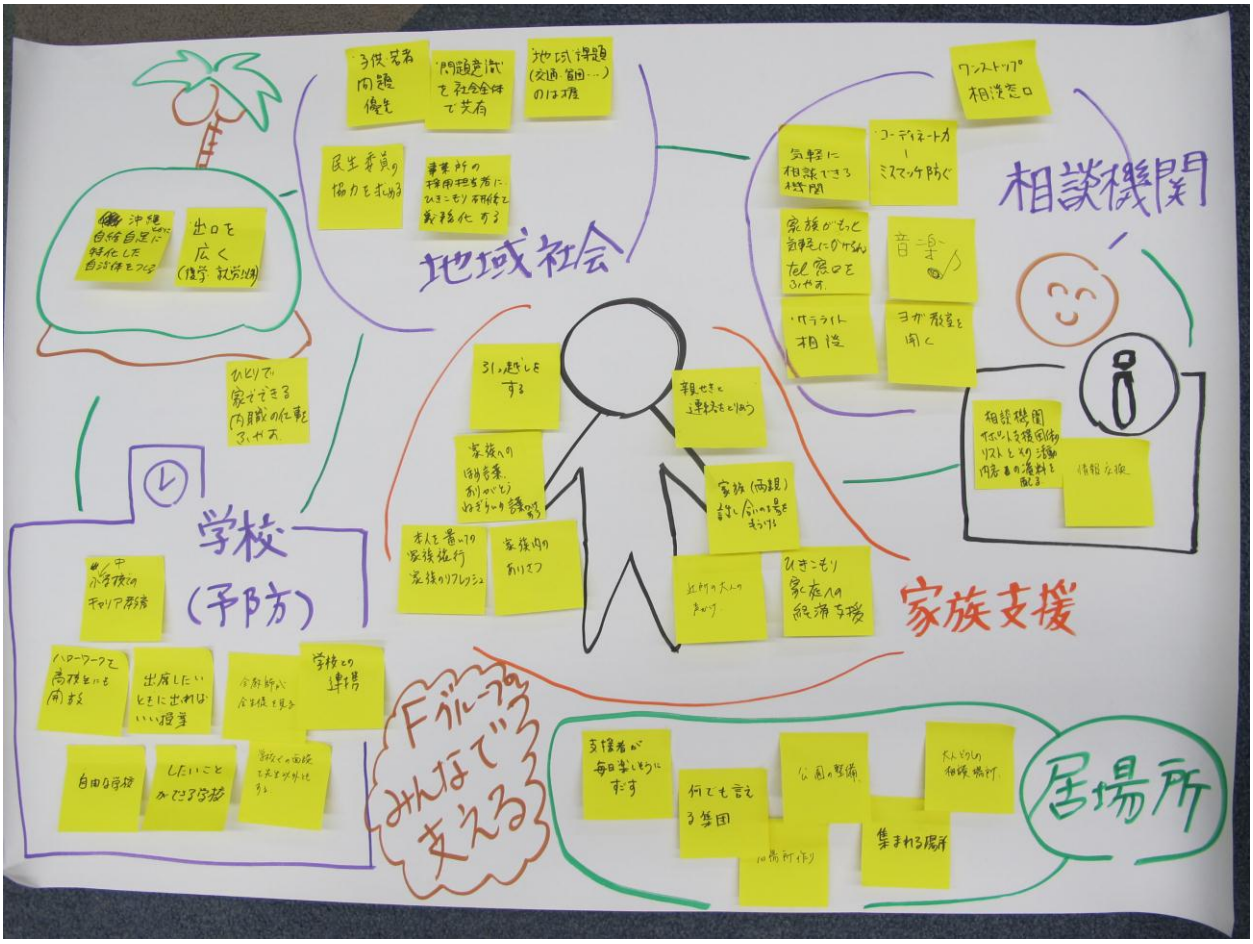
【グループワークの成果】

どこでも
就労
仕事
コンビニでの就労体験
仕事を通して働ける場を増やす
職のLXPを作る仕事をふやす
就業・学業中退者を引き継ぐ機関の創設
(福祉)就労支援施設へのボランティア
地域
家族
近隣でコミュニティーを作る
後援者が子育て・教育相談をする
地域のコミュニティ(自治会等)の活性化
家族との関係を密にする
地域で、その家族のケアマネージャーをつくる
地域家族もフォローする
いつでも
楽しみと自己表現
発表する場!!
学校や就労に誘ってみる
本人のかたちの食事を作ってもらう
自分を表現する場所を増やす
楽しみを見つけるサポート
Bグループ
情報共有
支援者が作成する(ハウツーたちのこと)
関係者で情報共有・手続
当事者が時時間相談できるところをつくる。
コンビニ
無料のカウンセリングの充実
本人
本人
居場所
自分で決められる
本人の外出が可能な場合は居場所があることを知らせる
居場所の情報の提供。
本人が関係者
つどえる場所を作る
外出支援する機関を増やす
コンビニ毎につどえるカフェをつくる
相談
訪問
訪問して探して関れる
相談がおわったらすぐに訪問する
訪問のはなすきかけ
コンビニ型(縁側型)サポートシステム

本人面談(支援者)
高校生個人面談
中学生年全員面談
本人と話してみる。
家族と進路を提示する。
家族から話をじっくり聞く。
ケース共有
本人の状況や経歴を聞き取る。
幼稚園から小・中学校までの情報の共有
個人カルテ作成
連携
気になることは関係者と連携共有する
不登校生徒へ外出機会(親以外)
福祉と教育現場との連携
家庭児童相談所に相談に行く。
中退後のフォロー体制
ネットワーク作り
精神保健福祉センターに相談に行く。
ひきこもりも悪くない!
親への支援
親への支援
相談にいく(親が)
親の交流会
親が私と向こうあう
本人が家族で話す機会を作る
居場所
つながりを感じさせる SNS、面談等利用
共感できる場所を作る
身近な場所にあるとも
ネットカフェで関係
暗示
「なんとかなる」と自分と思い関係させる。
体験
ひきこもり同士で生活する
いっしょにひきこもってみる
体験発表
見立て
小4で子備軍をあげる
きっかけになったこと(ひきこもり)をきちんと把握
見立てをする。
日頃からの様子・行動を知ること。
制度
小学校2人担任制度
支援計画
啓発
発達障害についての知識や理解を深める
Cグループ

D
ヒッキー手をつなごう!
地域
家族
本人
社会
学校
相談機関
居場所を ふやす
近所のおばちゃん と 民生委員の コンビ活動
相談窓口を もっと ふやす
家族ぐるみの サポーター 作り
予防 ひきこもり 勉強会
地域社会の 一員へ
居場所 作り
カフェ事業を 何せ市で
ひきこもり 助成金を たす
家族交流 面
母親どうしが つながる 場所づくり
サポートする人 との信頼関係
家族支援
家族の ひきこもり 認識を
早い目に 診断
ありのままを 認める
ひきこもりの マンガ
ドラマ
サポートする 団体の CM
ひきこもりな ゆるキャラ つくる
テレビCM 「相談しよう ひきこもり」
小・中での 理解教育を (道徳) 充実させる
小・中での ソーシャルスキル トレーニングの 導入
小・中の お母さん向けの 勉強会
小・中の 特別支援Coを 増員する
相談室を ふやす
精神科と 学校連携
奇抜に ならない

伝える!!
予防(起こりそうな事として)
社会に対する
生まれる前から支援
本人と家族に出来る事
支援者に出来る事
ビッグループ
居場所と仕事
スーパーバイザー
経験を 伝える
当事者の 経験
ソーシャル ネットワーク をつくる
家族の 経験を 伝える
支援者の 経験
ボランティアの 養成 講座
地域に 対しての 学習会
民生委員に 気づいてもらう
社協との 連携
ネットワークで こん談会 (酒)
関係機関の ネットワーク
訪問 支援
何でもから 話を 引き出す
病院で 受診する
スモールステップの 積み重ね
相談員 とのつながり をつくる
退職した 教師に 学習会を してもらう
趣味の 会へ誘う
就職 相談 求人情報 を見つける
誰かに 相談する
1人で 悩まない
居場所の 案内
仕事を 体験できる 職場探し
文化住宅 (空き) で 居場所を 作る
理解のある 社長のいる 会社団体に 頼む
時間を きにしないで ゲームする
声かけを 明るくする
親子で 一緒に 図書館に 入る
家族の 好きな事 話し合う
音楽を ききに行く
子供の 好きな あそびを させる
博物館へ 行く
夫婦だけで 食事へ行く
ひきこもりに なった 背景を 聞き出す
本人の 強みを さぐる
自分の やりたい を見つける

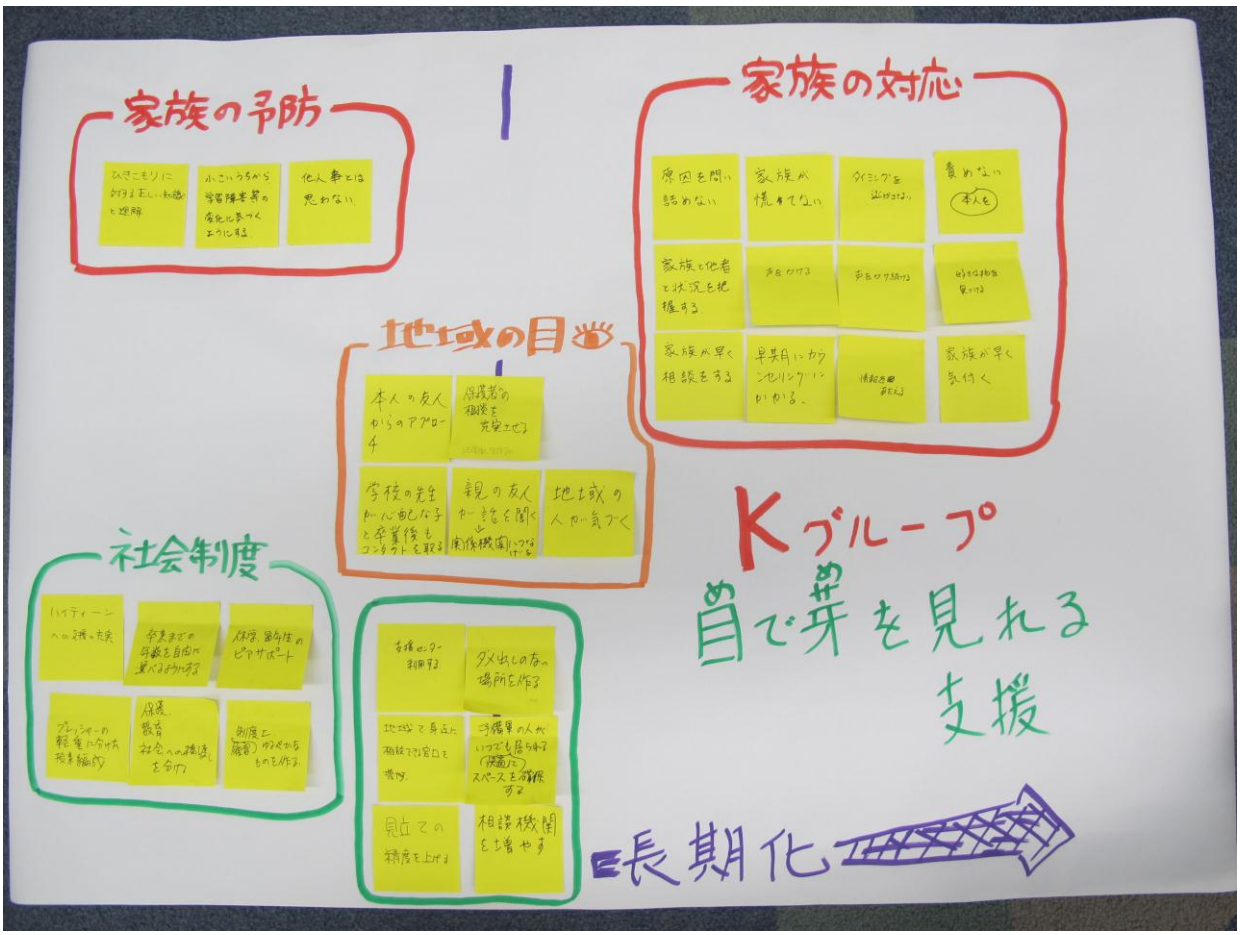

地域社会
子供・若者問題優先
「問題意識」を社会全体で共有
地域課題（交通・貧困…）のは大
民生委員の協力を求める
事業所の採用担当者にひきこもり知識を義務化する
沖縄自体自治に特化した自治体をつくる
出口を広く（復学・就労以外）
ひとりで家でできる内職の仕事をふやす
相談機関
ワンストップ相談窓口
気軽に相談できる機関
コーディネート力・ミスマッチ防ぐ
家族がもっと事業にかかわれる窓口をふやす
音楽
ハラライト相談
ヨガ教室を開く
相談機関マップを機関リストとその活動内容などの資料を配る
情報交換
家族支援
引っ越しをする
親せきと連絡をとれる
家族への接客業・ありがとうのメッセージ
家族（両親）話し合いの場をもうける
本人を番づけの家族旅行
家族内のありかた
近所の大人の声かけ
ひきこもり家族への経済支援
学校（予防）
小学校・中学校のキャリア教育
ハローワークで高校生に向ける
出席したいときに出れればいい授業
家族形式 会社員を減らす
学校との連携
自由な学校
したいことができる学校
学校での面接を本人が外れる
Fグループ みんなで支える
居場所
支援者が毎日来いとうにする
何でも言える雰囲気
公園の整備
人がいない場所作り
集まれる場所
大人どうしの相談場所

Gグループ 人生バリアフリー
望む社会
「普通」という事を言わない
ひきこもりにネガティブイメージを持ってほしくない（もっと世間にあれこれとすべき）
良く話しを聞く。こまりたい事・やりたくない事
世代交流
人と人とが心地よく交流できる場をもつ
格差社会をなんとかする
相手のことを思いやる社会をつくる
表彰式の場をたくさん作る
強制的改善
親が家にいる。
家庭訪問
ネット環境をなくす。
生保の場合お金は見つつで
地域
趣味をつくる（仲間）
公園での相談会
ゲームセンターでの相談会
ひきこもりになりそうな時だ、周りが気づく
家族以外の人とのつながり。
支援者と趣味の話をする。
就業準備
ボランティアへの参加
職業訓練
職場の紹介
家庭
毎日、朝、夜に（ありがとう）を3回言う
1日3回は人にありがとうという法律をつくる
出掛ける事に「いってらっしゃい」「おかえり」を
朝「おはようっ」と声を掛ける
あいさつや気軽に声かけのあるお会へ
家庭内のライフイベントを決め実行する
本人が好きな事を一緒にやる努力をする。（ゲーム、TVなど）
何かひとつ家で出来る事を決めて実行する（時間まで待つ）
決して押しつけない。（出来なくなるまで待つ）
1日1回いっしょに食事をする
学校
学校医の健康相談に本人・保護者に来てもらう
小・中・高の連携を密に
学習の遅れを取り戻す
ことを実施する
スクールカウンセリングを増やす
会話という単位の設定（学校内教育）
社会資源の活用
本人を支える人（家族）が相談しやすいように、機関をもっと世間に広める
保健所の精神保健相談に相談に行こう。
サポステへの参加。
高校生世代へのサポートをふやす
教育相談ができる所へ行こうよ
[redacted]

Ⓗ つながり
学校
父兄懇談や連絡
父兄には家路を行なう
中退
不登校対策
での居場所づくり
家族では家族の
様子をしっかり
ついて
早期に
体制をつくる
学校と家庭との連携をとろう
につとめる
学校卒業後に
サポートできる
体制をつくる
就労
ワークシェアリング
支援
一人一人の
ペースにあわせた
支援ができる
外出機会
きっかけ作り
昔の思い出
を積み重ねる
親に
元気になってもらう
相談
発達障害に
ついての啓蒙
相談先の
情報発信
(広報)
相談できるところ
をひろくつくる

ちょっとそこまで。
地域
地域での少しのふれあい情報交換
振りおこし
ロコミ情報
サードプレイス
サードプレイスの提案
サードプレイスでき家の活用
地域の居場所づくり
親の交流の場の確保
学校
学校に相談員を常駐させる
どの高校にも相談窓口を作る
同窓会活動
早期発見
相談
インターネット
カウンセリング
インターネットでの発信
メール相談
電話相談（親に家族で）
家庭
家庭内でのいごこちのよさ 夫婦円満
私・家族との信頼関係の構築
親の楽しみの実現
テレビでの発信
回答者の質の向上
カウンセリングや相談と思われない雰囲気作り
ライン グループでの会話
相談者の負担
サポート機関の宣伝
ポスターとうの掲示。
積極的な言語的、非言語的コミュニケーション
傾聴・受容
・観察
・距離感
雇用を増やす
大学生との連携（コンビニ、スーパー、ファミレス）
家庭内でのみまもり 見きり
ウォーキングを習う（散歩）
アロママッサージ
寝る前に本を読む（雑談、絵本）
初めの一歩

J グループ
相談・窓口
環
相談所
あること
行きやすい所
作ってみんなに
安保
サポステ(学生)
にあり伝い
窓口で、悩みのある発表の情報をつかむ
自立促進講習
へお誘い、する
HPで
ちょっとの相談所を開設する
相談窓口を
ようなかたちにする
ワンストップ
窓口の充実
インターネットで
相談できる
場をつくる
ちょっとの相談
聞いたりする
情報を
とりやすい
工夫
相談窓口へ
のつなぎ
易え
(ちょっと易い情報)
早い時期からの
相談機関へ
つなぎ
ネットワークを
つくる
知る
泣き部屋
の
確保
助けて!!
言える所
居場所
本人の
サードプレイス
場所の確保
本人の
できることに
注目
昔ひきこもっていた
人の経験を
きける場をつくる
多様な
人生モデルと
出会う
ニート同志
集まる会
P.Rする
本人の
好きなことは
何か 自分のはず
サーカーフェスタ
参加した。
別の
フリースペースを
つくる
(いつでも行ける
場)
学校
相談に
行かせる体制
仕組みづくり
不登校きみの
生徒への
接近 問題
(学校での)
学校との
連携
高校生の
居場所
つくり
不登校
卒業後の
ケア
中高生の
不登校支援
保育園
幼稚園
小学校
中学
ひきこ
不登校と
の
結 多くの
関係
学校での
つまづきは
何か
学校の
管理運動
会議への
(情報)
PTAに
不登校 ひき
こもりの
心理教育!
授業に
組み込む
社会
有権者
選挙に
投票する
家族が
オープンに
できる場を
ありのままで
社会活動に
とび出す
就労場所の
多様化
大臣に言って
世間に
理解してもらう
マスコミ
大臣が社長を
親戚になる
(2月)
宝くじを当てて
大金を得る
社会制度
お金が
回らしくみ
年金 若い人
ニート支援
家庭
家族旅行の
実現を図る
保護者の
実像
声を聞く
実践のことについて話す
NPO
保護者の
サポート
保護者の
本人の症状
理解
他の
孤立
防止
就学前
三歳児が
一番 手健診が
日常の 病気をみる
幼児クラス
学識 対策を
考える
医療が
カウンセラーが
生活保
(民)
注意 に注意
みる


家族の予防
ひきこもりに対する正しい知識と理解
小さいうちから学習障害等の発見に繋がるようにする
他人事とは思わない
家族の対応
原因を問い詰めない
家族が慌てない
タイミングを図ればよい
褒めない
本人を
家族と他者と状況を把握する
声をかける
声をかけ続ける
好きな物を見つける
家族が早く相談をする
早期にカウンセリングにかかる。
情報を得る
家族が早く気付く
地域の目
本人からのアプローチ
保護者の相談を充実させる
学校の先生が心配な子と卒業後もコンタクトを取る
親の友人が様子を聞く
医療機関につなげる
地域の人が気づく
社会制度
ハイティーンへの支援の充実
卒業までの学級を自由に選べるようにする
保護、当事者のピアサポート
プレッシャーの軽減に向けた授業編成
保護
教育
社会への接続を合わせる
制度上(教育)わかるものを作る
支援センター利用する
ダメ出しの友の場所を作る
地域で身近な相談できる窓口を増やす
当事者の人がいつでも居られる(実面)スペースを常設する
見立ての精度を上げる
相談機関を増やす
Kグループ
自で芽を見れる支援
長期化

つながり
支援者のじ得
社会参加
地域スタイル
ピアサポート
家庭での取組
他機関とのつながり
グループ